

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2025年

1月

233号

- ◇ 仏の智慧を身に付けよう
- ◇ 法華経は菩薩になる教え
- ◇ 仏性の芽を大切に育てよう

瑞色鮮

瑞色鮮

五月六日

瑞色鮮



ホームページ

宗教法人 真生会

令和七年信仰目標

仏の智慧を身に付けよう!!

『自分の成長と人救いのために』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声がけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

～お知らせ～

厄除け節分祭

開催日：令和7年2月2日（日）

内容：ご祈祷 10:00 / 運勢解説 10:40 / 豆まき 11:30

場所：総本山真生寺

※本年は節分祭並びに一日法座 合同開催と致します。

※各教会の開催日程については直接お問い合わせください。

祈りを込める参列者



慈悲廣大の鐘前で供養読経

導師会長先生により平和の祈り読経供養が行われ、参列者は慈悲廣大の鐘にて一年間の煩惱を祓い、良い年を迎えられるよう各々の願い・祈りを込めて除夜の鐘を撞いた。

令和六年 大晦日 除夜の鐘

大晦日の夜、総本山真生寺「除夜の鐘」が執り行われた。

十二月三十一日（火）の



ご家族で除夜の鐘つき



会長先生による奉鐘



心清らかになる鐘の音色が広大に響きわたる



令和七年 初詣参拝

令和七年元旦、二日に総本山真生寺、各教会（教会は元旦）において初詣が執り行われた。元旦は開祖さま生誕会並びに交通安全大祈願・各種祈願の供養読経を厳修した。参拝者は一年の指針となる会長先生直筆の「仏さまの声」短冊を拝受し、決意を新たに新年を迎えた。真生寺においては慈悲広大の鐘の初鐘撞きも行われた。



初詣の供養読経（総本山真生寺）



短冊の解説を受けるご家族



初鐘をつくお子様



「仏さまの声」短冊授与



ご真教法話



初詣の供養読経（大阪教会）



お祓いの儀（大阪教会）



開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁

たなか ひと

妙法とは人間としてよみがえる教えです。

若者が競って自動車に憧れるのは、自動車

メーカーが常にマイナーチェンジかモデル

チェンジをする変化に、魅力があるからです。人生も「日に新しく、日に新しく」の心構えで生活を改善改造しない限り、平和な家庭も魅力を失い、向上心を失えば親子の別離が始まり、非行少年や暴力学生が誕生し、老人ホームへの志願者が増えてしまうのです。正月を迎え「新年おめでとうございます」とは「新年に新しい芽を出しとうございます」が本当の意味です。日常生活に大きな改造は出来なくとも、せめてマイナーチェンジ（小さな改造）をしたら、活気が湧き生氣がみなぎるのです。

（1984年、真実に生きる45号より）

ぶし眞教法話

会長 田中庸仁
たなか つねひと



◇仏の智慧を身に付けよう

新年あけましておめでとうございます。本年も人生教書「ひかり」を生活の糧かてとして、なったことを受け入れ、ありのままを喜びに切り替えて明るく希望ある一年を送りましょう。

今年の信仰目標は「**仏の智慧を身に付けよう。**自分の成長と人救いのために」と掲げました。

教えない人は、凡夫ほんぶの知恵（一般常識）で生活しているので様々な苦に行き詰まって困るのです。仏さまの智慧（大自然の真理）で物事を正しく見れば苦に行き詰まることはありません。

しかし、この世は苦の娑婆ぼんぼうであり、苦は無くなりません。そこで、苦を苦と受け止めない生き方、煩惱ぼんのうがあっても煩惱に振り回されることのない生き方、

生き死にかかわるような大きな変化にも動揺しない生き方を説かれたのが仏教であり、仏さまの智慧なのです。

その仏さまの智慧を身に付けることによって私たち凡夫は心が成長し、いつでもどこでも何があっても大安心の幸せが実感できるようになるのです。

◇法華経は菩薩になる教え

法華経は教菩薩法と言って菩薩を育てる教えであり、その菩薩の働きに仏所護念と言って諸仏の奇跡的なご守護が現れるのです。妙法は人間改造、運命開拓の教えです。

自分や家族が教えで救われた人は、救われた仏恩に報いられるよう「人を救う人」になりましょう。あなたの近くに救いを待っている人がきつといます。自分が救われる喜びから、自分も人を救うことのできる感動が本当の法悦です。菩薩になれるために説かれたのが法華経の教えなのです。そのためには、ぎょう会員一人一人が行（実践）や信（祈り）



と共に法華經の解（智慧）を深め、一步でも仏の境涯に近付き、人を救うことのできる菩薩を目指しましょう。

柴垣聖祖様は、再起不能の病気、貧乏、不和に悩み苦しむ人々に因果の理法を説かれると同時に法座を開き、施主自ら人を集めて法施の徳を積むことを徹底指導され、次々と奇跡的な救いが現れました。

栗山聖祖様は、柴垣師の教えを聞かれた直後から「自分も人を救いたい。救うことが出来るのだ」と三年間も中風（脳卒中）で寝込んでいた近所の老人を七十五日間毎日拝みに通い、全快し自力で歩けるようになった奇跡が起こったのです。その事実が評判となり、岐阜市内に一気に教えが広まりました。以後、右足が不自由な障害者でありながら全国布教に東奔西走されたのです。

開祖さまは両師の教えを受け継がれ、全国津々浦々に法華經を弘める菩薩教団を作るために昭和五十四年に真生会を開教されたのです。

開祖さまは、救われた体験話や入信の救われを何度も繰り返し千回くらい話すと言われました。

柴垣聖祖様も、「すべての人が菩薩行をすることは難しいから、私の菩薩行

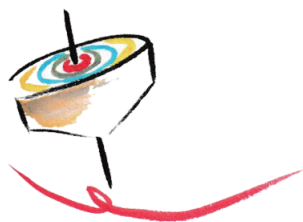
実践により救われた人の話を受け売りでいいので人に伝えれば、その人は菩薩行を実践したのと同じ徳が積めるので「と教えて下さいました。」

どうぞ会員信徒のみなさん、四年後の開教五十周年を指して開祖さまがおたすきに掲げられた「一天四海、皆帰妙法、仏所護念、教菩薩法」の大目標に向かって自分の救いのため、聞いて喜ぶ「声聞信仰^{しょうもん}」から、人に教えを伝え、人を救う「菩薩信仰」に大転換していきましよう！

◇仏性の芽を大切に育てよう

すべての人に仏性の種があります。仏性の種が発芽し、成長し、花咲き実を結ぶには、仏縁法縁に触れ続けることが必要です。

親と一緒に参りした幼い子供の仏性の芽生えが、中・高・大学生になるに従って教えの光や甘露^{かんろ}の法雨から遠ざかり、成長し始めた仏性の芽が枯れてしまう人が多くいま



す。結果、やがて仏性が自己中心主義という貪欲とんよくに覆おおい隠かくされ、年老いた親を見捨てて放置し、親も自ら老人ホーム行きを望む分断・孤立社会になりつつあります。日本の将来、皆様の老後に希望の光はありますか？

年末に長男の嫁から嬉しいLineのメッセージが届きました。全文をご紹介します。

「お疲れさまです。

今日の出来事。忘れずに幼稚園行く前に手を合わせて行ってね〜って言ったら、はるはると（悠仁）くんが『今日も一日、日本が平和になりますように、プーチンさん鉄砲持たないで下さい』って仏様に合掌し、幼稚園に行きました。可愛かったです。

こうお祈りなさいなんて誰も教えていないのに、TVやいろんなところで自然に自分で学んで平和を祈れる五歳児にビックリでした」

「門前の小僧習わぬ経を読む」といいますが、家に手を合わせお参りするご本尊様が祀まつってあり、両親がちゃんとお参りしているから、素直な子供の仏性が開き、人様の幸せや平和な世の中をお祈りできるのですね。

本当に信仰って素晴らしいですね。

法華経方便品に「仏種は縁によって起こると知しるしめす。是の故に一乗（成仏を目指す法華経）を説きたまわん」とあるように、人間誰にでも仏性という仏に成れる種があるのですが、植物の種も水や温かさの縁に触れて初めて芽が出るように、一乗の教えは法華経の縁に触れた時、仏性の種が芽を出し始めるのです。特にこの子はお母さんのお腹の中にいる胎教中から、何度も何度も一心行でお経を唱えて拝んでもらい仏縁に触れているのです。

信仰は大人になってからするもの、老人がするもの、困った人がするもの、自分で決断できない弱い人がするものなどと勘違いしている浅い考えの人もありますが、信仰とは決して受け身で消極的なものではなく、「真理を学び、心を磨き、人格を完成しようという能動的積極的な生き方」なのです。



生まれる前の胎教中や純粋な子供の頃から仏縁を結んでこそ、優しく素直で思いやりのある心清らかな人間に育っていくのです。

学生や青年の頃から、新婚のうちから教えを学びましょう。

そして、真理に添って正しく美しく生きる自分に自信の持てる輝かしい人生を築きましょう！

何億円という財産も無くなる時はあつという間です。そして、徳がないと相競争いをして憎しみあつたり、お金ではどうにもならない大きな問題が起きた時には役に立ちませんが、教えという財産はむしろ困難に直面した時や大きな目標に立ち向かう時にこそイキイキと輝き、役に立ち、永遠に無くなりません。親のみなさん、子や孫に自信を持って法華経の教えという永遠の財産を継承しましょう。

令和七年巳年は、今まで熱心に蓄えて来た信仰のエネルギーを若い世代や人に伝える絶好の年回りです。勇氣と決意をもって、引つ込み思案になったり、出し惜しみせず法の施しをしましょう。随喜功德品ずいきくどくほんにあるように財施ざいじの何百倍・何千倍・何万倍の利益りやくとなって戻ってきます。

先師の名言、名書

佛に云
印

佛恩

◇ 仏恩 (開祖さま揮毫)

報恩の人生は榮え、忘恩の人生は滅ぶのが真理です。恩と言う字は「因もとの心」と書きます。私たちが今日生かされている根本に対する感謝の心が「恩」なのです。恩には「父母の恩、衆生の恩、国王の恩、三宝の恩」と四つの恩があります。父母の恩はお腹に命が宿ってから、産み育てるために受けた多大な恩。衆生の恩は衣食住に係わるすべての人たちからの恩。国王の恩は平和な生活ができるために努力している人たちへの恩。そして、仏法僧の三宝の恩です。私たちが正しく安穩に暮らしていくための教えが「法」であり、それを説いて下さる師や仲間が「僧」です。そして、目には見えませんが、大自然の恵み、すべての生き物の営みは久遠の仏のご恩によって生かされているのです。

今月の運勢（2月）

（2025年2月3日～3月4日）

一 白水星

最高潮の時期に突入した。勢い任せに進むのではなく、周囲の人には温厚に優しく接すること。集まる人は変わっても陰日向なく差別せず一貫性をもって実行することが大切。

二 黒土星

周囲から注目される八方塞がりの年明けとなりますが、見方を変えれば中心にいてすべてが見渡せる八方広がりとなります。しっかりとエネルギーを蓄えて活躍の時期を待つこと。

三 碧木星

雷が天に轟き、力強く勇壮活発であるが、本

当の強さとは自己を律

し自分の欲望に勝つことである。行うことが正しければ前途は洋々としていく。

四 緑木星

収穫の嬉しい月だが、心の中心に誠があることが重要。何事にも私心があると大失敗する。反対に危険な冒険も正しい手続きと方法であれば勝負しても天の応援がある。

五 黄土星

大きな問題に直面するが、案ずることはない。一旦立ち止まり、切り替えるべきは切り替えて再出発する時である。家族に協力しても

らい団結すれば必ず乗り越えられる。

六 白金星

明るくテンションを上げて頑張れる。志を同じくする人と組めば大きな力となって成功する。但し公正無私な目で人を選ぶことが大切。もめごとは計画を潰してしまうので怒りは禁物。

七 赤金星

人財、経済の有るべきものがなく、進退窮まり困窮する苦勞の月。雨降りの後は晴天になるのが自然の理。繁盛の前の苦勞と切り替えて、言い訳せず苦しくとも一貫して今まで通

り進めばよい。

八 白土星

基礎作りのために小さなことをコツコツやっ
ていこう。大きなことはできない。勢いのない時なので無理を
すると思わぬ失敗を
し、目的が崩れてしま
う恐れがある。

九 紫火星

何かをしようとすれば、どこかで思わぬ邪魔者や障害が現れる。特に獅子身中の虫は内部崩壊に繋がるので、動揺せず是非々で断固として取り除けばいい。但し後に遺恨を残さないように慎重に行わなければならない。

「まごころ誌代」御礼

土川順寛	三木幸子	熊田啓予	飯田昌子	堀田純子
土川恭代	四日市某	亀井善二	飯田修五	大西啓依子
土川康二	岸本昌子	多田佳央	宮島りえ	坪井佑介
土川廣美	岸本周夫	堀部恭利	荒木敬依子	坪井祥子
横山知津子	平田みや子	堀部祐美衣	永田雅子	赤坂 史
某女	山田美保子	足立和美	滝山恵依子	今井純司
山本季美衣	多田正幸	高橋身衣	谷口祐晟	今井龍広
佐藤百々枝	多田道子	鈴木光隆	谷口祐子	出田ときこ
佐藤光洋	田中庸仁	早野桂子	大下裕子	出田 溪
伊東 晃	田中佑季子	早野起世	池澤幸代	長尾かれん
安田初子	田中祥陽	豊田直正	片桐淳子	笹原トミ子
京川春男	田中理夏子	豊田真悠子	坂本育身	笹原朋和
鈴木正巳	田中宏明	加藤祐記子	樋口恵美子	笹原德行
今井義彦	田中花音	松尾定洋	樋口容子	笹原正子
家安久子	亀井善広	宮田雄貴	村上視佑記	石丸祐視子
滝本光夫	亀井由実子	加納啓至	平口富子	細谷早予子

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

奇跡は起きる
いつだって
誰にだって起きる
起きるから奇跡
奇跡を起こすのは
あなたの決心と
実行です。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします